

# 「そのぎ茶が日本一に」

## ～ダブル受賞悲願達成の軌跡～

お茶の日本一を決める第71回全国お茶まつり長崎大会・全国茶品評会が9月5日～8日に行われ、蒸し製玉緑茶の部門で、「そのぎ茶」が産地賞、個人では中尾郷の尾上和彦さんが農林水産大臣賞を獲得し「そのぎ茶」が日本一に輝きました。

11月11日開催の全国お茶まつり長崎大会式典で表彰されます。



農林水産大臣賞を獲得された尾上和彦さん<長崎新聞社提供>

平成29年度  
東彼杵町広報紙

ひがしそのぎ 号外

# 長崎県で初開催「全国お茶まつり」

全国お茶まつりは、全国茶業関係者の総力を結集して、茶の生産改善と消費拡大を図り、日本茶業の発展に資するもので、今回で71回目を迎えます。  
長崎県で初めて開催されることとなりました。



## 第71回全国茶品評会審査会の主な結果について

第71回全国茶品評会審査会は、9月5日から8日までシーハット大村で開催。全国から集まった20名の審査員により、7茶種8部門へ出品された841点について慎重に審査されました。  
町内の主な結果は以下のとおりです。

茶種：蒸し製玉緑茶

等級	順位	氏名(敬称略)	備考(特別賞)
1等	1	尾上 和彦(中尾)	農林水産大臣賞
	2	大山 良貴(太ノ原)	農林水産省生産局長賞
	5	山口 亨平(太ノ原)	全国茶生産団体連合会長賞
	6	中山 雄太(中尾)	全国茶商工業協同組合連合会理事長賞
	8	(株)茶友A(一ツ石)	全国茶商工業協同組合連合会理事長賞
2等	9	中里 孝幸(中尾)	
	17	農業組合法人 長崎そのぎ茶萌香園	
	18	田崎 雅識(太ノ原)	
	20	中山 公輔(中尾)	
3等	26	福田 新也(太ノ原)	
	27	尾上 美紀(中尾)	
	29	三坂 作二(坂本)	
	31	尾上 雅一(中尾)	
	33	高坂 善男(菅無田)	
	34	大原 俊彦(坂本)	
	37	(株)茶友B(一ツ石)	
	40	森 土雄(太ノ浦)	



▲お茶の日本一を決める「全国茶品評会審査会」の様相(大村シーハット)

### 尾上 和彦さんが農林水産大臣賞を獲得

荣誉ある最高賞の農林水産大臣賞は、中尾郷の尾上和彦さん(表紙写真左)が受賞されました。

受賞の発表は、9月8日に品評会事務局から役場に連絡があり、尾上さんの受賞に関係者は喜びを分かち合いました。(表紙写真)

尾上さんは「日本一はずっと欲しかったです。一人では絶対にとれない賞で皆さんのおかげです。」と喜びを語られていました。



## 東彼杵町が産地賞も受賞



▲産地賞受賞の3名 左：山口亨平さん 中央：尾上和彦さん 右：大山良貴さん <長崎新聞社提供>

蒸し製玉緑茶の産地である長崎県での開催ということもあり、高品質の茶が揃い、特に上位は生産者の熱意が感じられる優品で高いレベルの争いでした。

今回、出品市町村での個人上位3人の合計点により決定する産地賞を東彼杵町が獲得しました。生産者全体の長年の努力によるもので、個人賞と併せて産地としてもそのぎ茶が日本一と認められるこの上ない最高の結果となりました。

## 日本一へ向けての取り組み

悲願の日本一達成へ向けては、これまでさまざまな取り組みを行ってきました。



▲品評会出品へ向けて製造講習会 <平成29年4月24日> (生葉の受け入れから蒸熱の様子)



▲約20年ぶりに行った手摘み <平成29年4月27日、5月1日、5月2日> (延べ600人以上で行い、多くの町民の皆様他、町外からもボランティアの方々にご協力をいただきました。)

年度	内容	備考
平成27年度	製茶研修工場の建設	製茶機械35K 1.5ライン一式
	間接被膜資材導入事業	お茶の旨みを増すための被膜資材の導入(16戸)
平成28年度	長崎県茶業技術者協議会研修会への参加	施肥及び病害虫防除作業など受講
	先進地への視察	3年連続農林水産大臣賞受賞(新緑園(宮崎県)へ13名参加)
平成29年度	茶葉の手摘みを約20年ぶりに復活	手摘み摘採農家5件。多くの町民がボランティア参加

## ＜そのぎ茶の軌跡＞ ～江戸時代後期以降～

時代	西暦	年号	郷土暦
江戸	1853	嘉永 6	大浦 慶 釜炒り製玉緑茶の見本を輸出
	1859	安政 6	大浦 慶 嬉野、彼杵等より釜炒り製玉緑茶 1 万斤 (6t) を輸出
明治	1895	明治 28	里郷 田島 福次郎 茶園 10ha の目標を立て田島農園をつくる
	1900	明治 33	県の茶業研究所を彼杵村に設置
大正	1925	大正 14	田島 福次郎 製茶工場をつくる
昭和	1935	昭和 10	赤木原に 110ha の畑が完成
	1959	昭和 34	長崎県茶業生産者大会が町公民館で開催 町村合併で「東彼杵町」誕生
	1978	昭和 53	県営赤木地区農用地開発事業竣工 81ha、事業費 8 億円
	1987	昭和 62	そのぎ茶振興協議会発足 本格的銘柄確立始まる
平成	1991	平成 3	そのぎ茶振興感謝祭開催
	2003	平成 15	第 42 回農林水産祭・地域特産部門内閣総理大臣賞受賞 (大山 次作氏)
	2010	平成 22	第 49 回農林水産祭・地域特産部門天皇杯受賞 (松尾 政敏氏)
	2014	平成 26	日本茶 AWARD 2014 日本茶大賞受賞 (侑茶友 松尾 政敏氏)
	2016	平成 28	日本茶 AWARD 2016 日本茶準大賞受賞 (侑西海園 二瀬 浩志氏)
	2017	平成 29	そのぎ茶振興協議会発足から 30 周年を迎える今年長崎県初開催 全国お茶まつり全国茶品評会にて農林水産大臣賞 (尾上 和彦氏)・産地賞 (東彼杵町) を受賞しそのぎ茶が日本一に



＜長崎新聞社」提供＞

町では昨年度「且座喫茶条例<sup>しやぎ</sup>」を制定し、そのぎ茶でのおもてなしと乾杯を推進しています。

今回の受賞についてもそのぎ茶で乾杯しお祝いました！

